

※本様式の入力にあたっては、Windows10かつExcel2013以降のバージョンを御使用くださるよう、お願いいたします。

専任教員数を入力すると研究業績数の上限が表示されます。
小規模の組織や専任教員が「0人」になる場合などの理由がある場合には、機構までお問合せください。

第3期 研究業績説明書 イメージ

法人番号 ^①	XX	法人名	〇〇大学	学部・研究科等番号 ^②	X	学部・研究科等名	〇〇学部・〇〇研究科	専任教員数 ^③	[人]	提出できる研究業績数の上限 ^④	[件]
実績報告書作成要領の29ページに記載の番号(1～90まで)を入力してください。		冒頭に「国立大学法人」、「大学共同利用機関法人」は不要です。		判断基準【400字以内】 ^⑤		原則、現況分析単位として登録してある組織の名称で入力してください(あまりにも長くなる場合には省略しても構いません)。					
～の特色がある。したがって、～という点が最も重要であると考えている。また、～であり、～であるため、～という点も考慮している。それらを踏まえ、～という判断基準で研究業績を選定している。											

小区分番号を半角数字で入力すると、小区分名が表示されます。
正しい小区分名となっているか、必ず御確認ください。【例】01010(哲学および倫理学関連)

2. 選定した研究業績

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ及び 要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会、 文化 的意義 ⑨	判断根拠（第三者による評価結果や客観的指標等） 【400字以内。ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、 文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して 選定した 研究業績 番号 ⑪	共同利用等 ⑫	数字、英字及び記号は半角で 入力してください。 代表的な研究成果・成果物 【最大3つまで】 ⑬						
									a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)
									著者・発表者等	タイトル・表題等	発表雑誌・出版社・ 会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI （付与されている場合）
1	XXXX	・・・	〇〇〇〇の研究 本研究は、〇〇〇〇〇に関し、従来より課題となっていた～ ～について、～ ～という理論を用い、分析・解明したものである。 この手法は、～ ～という点で画期的であり、これにより～ ～であることが明らかとなり、～ ～することによって～ ～できることを示すことができた。	SS		(1)は2019年度の日本〇〇学会の〇〇賞を受賞した論文である。この論文は、特に～ ～という点で評価が高く、〇〇学会の〇〇において、「～ ～ ～」と言及されている。被引用回数に関しても、◇◇◇◇において、「～ ～ ～」の演題で、××国際会議では「～ ～ ～」の演題で招待講演を行い、その他国内の学会等を含めると、計〇回の招待講演を行った。本業績は、当該分野のみならず、関連する△△△△の研究にも大きく貢献し、国際学術誌『▽▽▽▽』において、「～ ～ ～」と高く評価されている。		(1) XXX, XXX, XXX (2) 代表的な研究成果・成果物を入力する際は、行をあげずに(1)から順に詰めて入力してください。 (3)	〇〇	〇〇	〇	pp.〇-〇	2019	〇〇.〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇	
2	XXXX	・・・	△△△△の研究 本研究は、△△△△について、従来まで考証されていなかった～の視点から考察したものである。本研究では、特に、～ ～という点に着目し、定説とされていた～ ～について、～ ～であることを論証したものである。	S		(1)は、当該研究の中核をなす論文、(2)は、(1)で論証した～ ～のアプローチからも明らかにした論文であり、両論文は2017年度の日本△△学会の△△賞の対象となったものである。(3)は、(1)(2)の内容を中心に、最近の研究動向をまとめた総説であり、〇〇学会の〇〇において、「～ ～ ～」と言及されている。また、これらの論文等から構成される「△△△△の研究」について、国際学術誌『◇◇◇◇◇』において、「～ ～ ～」の書評を受けており、～ ～という点が評価されている。	X-X-X	〇	(1) XXX (2) XXX (3) XXX	〇〇 △△ □□	〇〇 △△ □□	〇 △ □□	pp.〇-〇 pp.△-△ pp.□-□	2017 2017 2019	DOI以外は入力しないでください。(ISSNやISBNについては「発表雑誌・出版社・会合等」欄に記載しても構いません。Q&A問3-24参照) 〇〇.〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ 及び 要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会、 経済、 文化 的意義 ⑨	判断根拠（第三者による評価結果や客観的指標等） 【400字以内。ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、 文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して 選定した 研究業績 番号 ⑪	共同 利用等 ⑫	数字、英字及び記号は半角で 入力してください。 代表的な研究成果・成果物 【最大3つまで】 ⑬								
									a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)		
									著者・発表者等	タイトル・表題等	発表雑誌・出版社 ・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI （付与されている場合）		
3	XXXX		◇◇◇◇の研究 本研究は、従来の◇◇◇◇に関し、新たに～ ～～～～～を応用し、～～～～ ～～～～という技術手法を開発したものである。 これは、～～～～～で注目されている ～～～～～プロジェクトの中心的 な役割を担うものであり、当該技術に基づく▽▽ ▽▽▽システムにより、～～～～ を可能とした。		SS	(1)は実用性において評価の高い論文に与えられる○○学会の○○賞を2017年度に受賞した。受賞理由は、「～～～～～ ～～～～～」と記されている。 また、(1)で示された～～～～～という技術手法は、××新聞（2018年○月○日）、△△新聞（同年○月○日）、◇◇新聞（同年11月24日）で書評に取り上げられ、「～～～～～ ～～」等の高い評価を受けている。 当該技術は2019年に実用化され、世界120か国において製品化、普及しており、全世界の人々の生活に新たな基軸をもたらした。また、○○社の報告（報告書『○○○○』2019年○月）に依れば、当該技術に基づく▽▽▽システムの運用による全世界の経済効果は年間75億米ドルと報じられている。			(1)	XXX	○○	○○	○	pp.○-○	2018	○○.○○○○/○○○○○○	
									○	(2)	XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2017	△△.△△△△/△△△△△△
									(3)								
3	XXXX		◇◇◇◇の研究 本研究は、従来の◇◇◇◇に関し、新たに～ ～～～～～を応用し、～～～～ ～～～～という技術手法を開発したものである。 これは、～～～～～で注目されている ～～～～～プロジェクトの中心的 な役割を担うものであり、当該技術に基づく▽▽ ▽▽▽システムにより、～～～～ を可能とした。		SS	(1)は実用性において評価の高い論文に与えられる○○学会の○○賞を2017年度に受賞した。受賞理由は、「～～～～～ ～～～～～」と記されている。 また、(1)で示された～～～～～という技術手法は、××新聞（2018年○月○日）、△△新聞（同年○月○日）、◇◇新聞（同年11月24日）で書評に取り上げられ、「～～～～～ ～～」等の高い評価を受けている。 当該技術は2019年に実用化され、世界120か国において製品化、普及しており、全世界の人々の生活に新たな基軸をもたらした。また、○○社の報告（報告書『○○○○』2019年○月）に依れば、当該技術に基づく▽▽▽システムの運用による全世界の経済効果は年間75億米ドルと報じられている。			○	(1)	XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2017	△△.△△△△/△△△△△△
4	XXXX X		◎◎◎◎の研究 本研究は、～～～～～や～～～～～ ～～に課題を抱える～～～～～などが、～ ～～のために◎◎◎◎の役割が重要になって いる。～～～の開発など、～～～～の実 現につながる。これにより～～～～という研 究成果をあげた。		S	(1)については、～～～～～や～～～～～が評価され、～～～～協会 が選ぶ2018年度○○○○賞を受賞し、このほか、～～～～会による○○○○賞 及び○○○○○賞も受賞した。これまで、△△△、◇◇◇などに出版するとともに、 ◎◎◎、□□□などのテレビや○○新聞、○○新聞、○○新聞など数多くのマス コミに取り上げられている。現在までに～～～～～、～～～～～、～～ ～など数多くの企業に採用されている。			(1)	XXX	○○	○○			2018		
									(2)	XXX	△△	第△回△△展			2017		
5	XXXX		□□□□の研究 本研究は、～～～～～について、～～～ ～の実現を目的とし、～～～～～ができる開発 のための基礎研究を行い、検証の上、□□□□ の実用化を目指している。		SS	【社会、経済、文化的意義】 本研究は、～～～～～というコンセプトを～～～～～に展開するもの であり、～～～～～を開発し、～～～～～に導入した結果、 ～～～～～を実現できることを証明した。本研究に対しては、記載の特許3件を含 め、合計○件の特許が登録されている。 本研究に関連して、～～～～～や、～～～～～などの国 内外の招待講演（計△件）も行っており、国際会議「～～～～～」から ◇◇◇◇Awardが授与された。			(1)	XXX	○○ (特許第○○号)	○○			2017.○.○		
									(2)	XXX	○○ (特許第○○号)	○○			2017.○.○		
									(3)	XXX	○○ (特許第○○号)	○○			2017.○.○		

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ及び 要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会、経済、文化的意義 ⑨	判断根拠（第三者による評価結果や客観的指標等） 【400字以内、ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して 選定した 研究業績 番号 ⑪	共同利用等 ⑫	数字、英字及び記号は半角で 入力してください。 代表的な研究成果・成果物 【最大3つまで】 ⑬							
									a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)	
									著者・発表者等	タイトル・表題等	発表雑誌・出版社・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI （付与されている場合）	
6	XXXX		○○○○の研究 本研究は、○○○○としての特性を、~~~~~ ~~~~~を通して明らかにした。~~~~~ ~~~~~という概念に沿って、~~~~~ ~~~~~と、~~~~~ ~~~~~との相関関係を明らかにし、~~~~~ ~~~~~を見出している。 第1部は、~~~~~という総論であり、第2部は、個別の~~~~~の分析を通して検証した各論である。	SS	S	【学術的意義】 『○○○○○○の○○○○○』は、刊行後、~~~~~に対して贈られる「△△△賞」を、また、~~~~~に対して贈られる「△△△賞」を受賞した。前者においては、~~~~~という展望をもたらした点（◇◇◇氏選評）、後者においては、~~~~~で、かつ~~~~~という点（□□□氏選評）が評価された。 【社会、経済、文化的意義】 『○○○○○○の○○○』は、「△△△賞」受賞時の選評において「~~~~~を、社会に対し、~~~~~としている。」という評価が与えられており、また、○○新聞（2019年○月○日）、××新聞（同年○月○日）で書評に「△△△」が特集されるなど、社会的な反響があった。			(1)	XXX	○○	○○出版		全○頁	2018	
									(2)	XXX	「○○」第○章	○○書店		pp.○-○	2017	
									(3)	XXX	「○○」第○章	○○書店		pp.○-○	2016	
7	XXXX		△△△△の研究 本研究は、△△△△について、~~~~~ ~~~~~の視点から~~~~~ ~~~~~の手法を用いて分析したものであり、~~~~~の活用により、~~~~~ ~~~~~が有効であることを実証した。また、この実証に基づき、現在課題とされている~~~~~について、~~~~~ ~~~~~の実施、~~~~~ ~~~~~の活用等を提言している	S	SS	【学術的意義】 (1)は、~~~~~という内容の論文、(2)は、~~~~~ ~という内容の論文であり、いずれも○○年度の日本△△学会の△△賞の対象となったものである。(3)は、~~~~~という内容の論文であり、□□学会の□□において、「~~~~~ ~~~~~」と言及されている。また、(3)は、○○の分野で権威ある学術雑誌の一つである『▽▽▽▽』に掲載されている。 本業績に関して、2018年△△学会の国際会議「○○○○」でのプレナリー発表、翌年度の基調講演「○○○○」を始めとして、2019年にアメリカ、オーストラリア、韓国の各国の関係学会で招待講演を行っている。 【社会、経済、文化的意義】 「□□□□の研究」を取りまとめた『◇◇◇◇報告書』は、△△県××××審議会において参考資料として提出され、~~~~~を踏まえ、~~~~~ ~~~~~されており、◇◇◇◇条例の形成に寄与している。 また、◇◇◇◇条例に基づく県の政策にも~~~~~ ~~~~~ ~の側面から反映されている。 さらに、本報告書は、○○新聞（2019年○月○日）、××新聞（同年○月○日）、△△新聞（同年○月○日）、日本◇◇新聞（同年○月○日）で書評に取り上げられ、「~~~~~ ~~~~~」等の高い評価を受けているとともに、◇◇◇産業や▽▽地域の□□産業について、~~~~~ ~~~~~ ~~~~~といった点で、その発展に大きく寄与している。			(1)	XXX	○○	○○	○	pp.○-○	2018	○○.○○○○/○○○○○○
									(2)	XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2016	△△.△△△△/△△△△△△
									(3)	XXX	□□	□□学会			2019	

様式の記入行が不足する場合には、印刷エリアを広げて御記入ください。

※ 業績番号1:「学術的意義」の記載例（代表的な研究成果が1つの場合）
業績番号2:「学術的意義」の記載例（代表的な研究成果が3つの場合）
業績番号3:「社会、経済、文化的意義」の記載例（代表的な研究成果が2つの場合）
業績番号4:「社会、経済、文化的意義」の記載例（代表的な研究成果が2つで、創作活動に基づく業績の場合）
業績番号5:「社会、経済、文化的意義」の記載例（代表的な研究成果が3つで、特許の場合）
業績番号6:「学術的意義」及び「社会、経済、文化的意義」双方の意義を有する場合の記載例（代表的な研究成果が3つで、著書の単著・分担執筆の場合）
業績番号7:「学術的意義」及び「社会、経済、文化的意義」双方の意義を有する場合の記載例（代表的な研究成果が3つで、論文及び学会発表の場合）